

健康ひろば



心の健康相談 (前日までに要予約)

☎ 広島県西部保健所呉支所厚生保健課
☎0823-22-5400

日時 6月9日(金)午後1時30分～3時
場所 市役所本庁4階401会議室

アルコール健康相談会 (申し込み不要)

☎ 保健医療課☎0823-43-1639

本人、家族が体験を語り合い、断酒を支援する場です。
日時 6月19日(月)午後1時30分～3時
場所 江田島保健センター

エイズ・梅毒検査 (要予約)

☎ 広島県西部保健所呉支所厚生保健課
☎0823-22-5400

日時 6月19日(月)午前9時～午後4時
場所 広島県西部保健所呉支所 (呉市西中央1-3-25)
申込期限 6月16日(金)
※感染に不安がある人の検査は無料で、匿名・個室での実施です。
※採血した後、当日中に結果がわかり、エイズと梅毒、同時に検査可能です。

国は、6月1日～7日の1週間を「エイズ検査普及週間」として定めており、広島県でもエイズの検査と相談が受けやすい体制づくりをしています。
感染の有無は、症状で判断することはできず、検査でのみ判定できるため、不安のある方はこの機会にエイズ検査を受けましょう。電話での相談も受け付けています。お気軽にご相談ください。

令和5年度被爆二世健康診断のお知らせ (検査費無料) ☎ 保健医療課 ☎0823-43-1639

広島県では、被爆二世の方を対象に健康管理に役立てていただくために、健康診断を実施しています。受診を希望される方は申し込みをしてください。

対象者	両親のいずれかが原子爆弾被爆者であり、次のいずれかに該当し、広島県内に居住する方 ・広島被爆にあつては、昭和21年6月1日以降に生まれた方 ・長崎被爆にあつては、昭和21年6月4日以降に生まれた方
申込方法	市内受付窓口に設置している専用はがきに必要事項を記入し、県庁被爆者支援課へ申し込み。広島県のホームページからも電子申請によって申し込みできます。
申込期間	令和5年6月1日(木)～令和6年1月31日(木)まで (消印有効)
実施期間	令和5年6月10日(土)～令和6年2月29日(木)まで(精密検査については令和6年3月10日(日)まで)

※詳しくは、保健医療課・各市民センターおよび三高支所にある「令和5年度被爆二世健診のお知らせ」をご覧ください。

健康づくりウォーキング教室 (申し込み不要・雨天中止)

☎ 保健医療課☎0823-43-1639

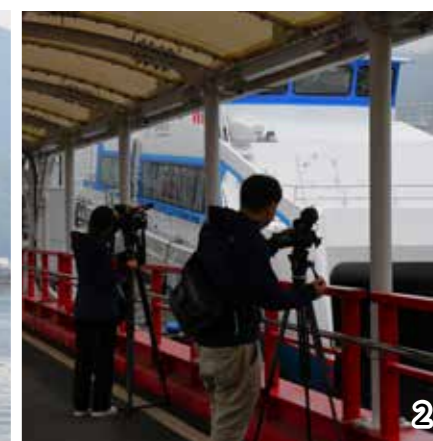
大君自治会館を出発し、新しくできた「BYUCCA glamping」を目指し歩きます。潮風に吹かれながら、みなさんと一緒に楽しく歩きましょう。ぜひ、お気軽にご参加ください。
日時 6月27日(火)午前9時30分～正午
場所 大君自治会館 (江田島市大柿町大君)
準備物 保険代30円、帽子、飲み物、タオル、運動しやすい服装、運動靴

地域のカフェ (認知症カフェ)

☎ 地域包括支援センター☎0823-43-1640

認知症カフェは、認知症の人やその家族、地域住民、介護や福祉の専門家など誰でも、気軽に集える場所です。お茶を飲みながら、悩み事の相談や認知症、認知症予防について学び、考えることができます。
参加費 100円 (お茶菓子代)

区分	いやしカフェ	よりみちカフェ
日程	6月7日(水)、7月5日(水)	6月27日(火)
時間	10:00～11:30	10:00～11:30
場所	江南ふれあいセンター	江田島市民センター別館
問合せ	在宅介護支援センター江能 ☎0823-27-8885	誠心園ランチ ☎0823-42-5252



- 1 見送りに手を振る乗客
- 2 報道各社による取材
- 3 テープカットの様子
左から瀬戸内シーライン(株)仁田代表取締役、吉野市議会議長、越智参議院議員、寺田衆議院議員、明岳市長、平口衆議院議員、沖井県議会議員、田中中国運輸局次長、濱谷自治会連合会長
- 4 最初の便への乗船



5/13(土) 未来に向けて 汽船「瀬戸ブルー」出発式

町港から広島港へ向かう最初の便となる12時12分に合わせて、出発式が行われました。出発式前の船内見学会には、多くの方や報道陣が訪れ、外観のデザイン、内装のカラーリングやバリアフリーを取り入れた設計に興味深く見学しました。出発式では、来賓の方々から祝辞をいただいた後、テープカットが執り行われ、最初の便に乗船する方々を見送りました。



5/14(日) サッカーを通じて江田島の魅力を発信 第1回江田島きゅうりCUP

切 串小学校グラウンドで「第1回江田島きゅうりCUP」と題して、切串小学校と三高小学校の合同チームを含む広島県内の小学生6チームを招いたサッカー大会が行われました。この大会は江田島応援団(代表 高田大輔さん)がサッカーを通じた交流を行い、江田島の魅力を発信する目的で開催され、選手約100人、関係者含めて150人の方が江田島市に集まり、熱戦を繰り広げました。参加者からは、「宇品のプリンスホテルがはっきりと見え意外に近い」といった感想がありました。代表の高田さんは「今後もこういった活動を通じて江田島の魅力をPRしていきたい」と話してくれました。



▲サッカーを通じた交流